

AIが変えるIT開発：NTTデータの挑戦は「救世主」か「ブラックボックス」か？

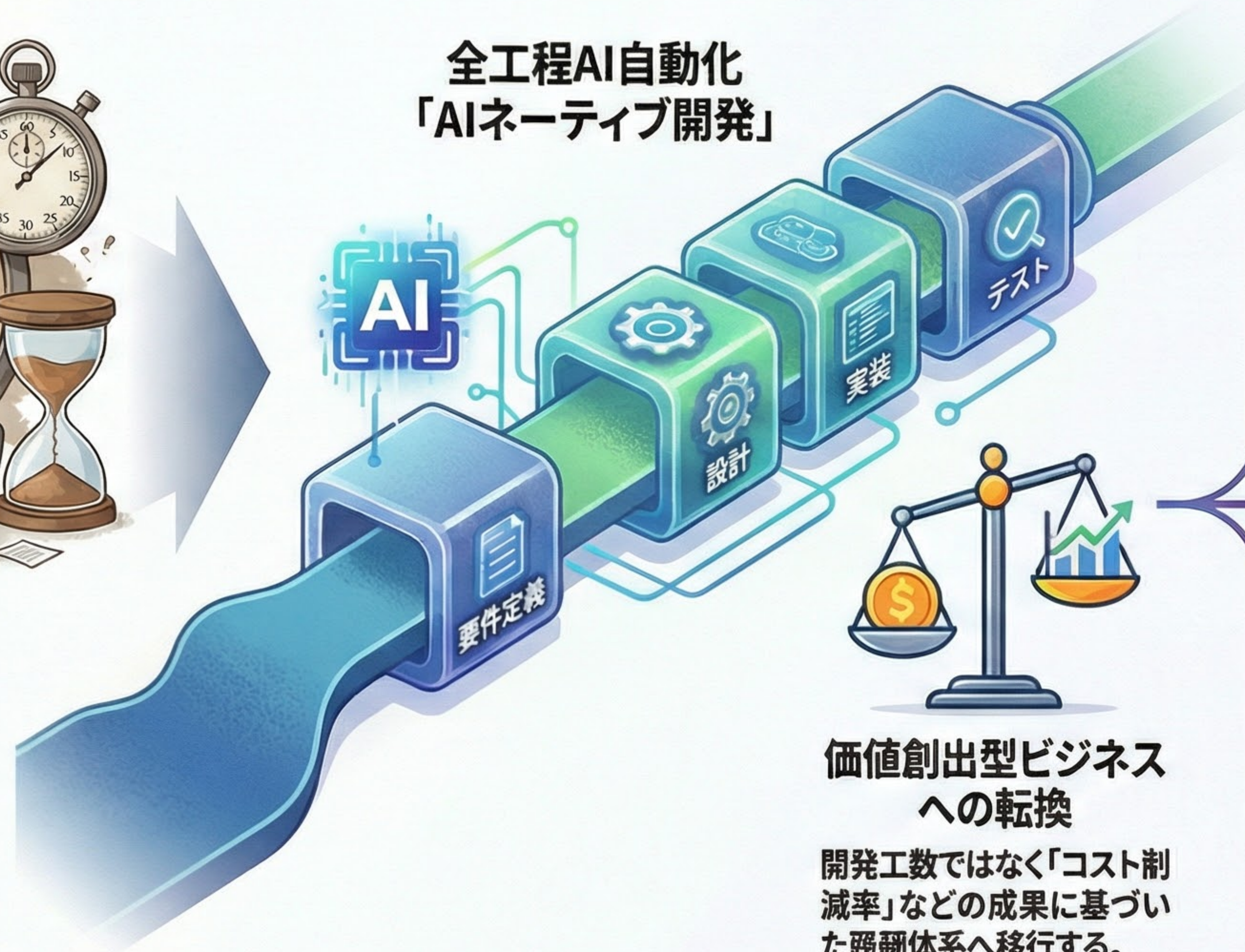
1. 業界の構造変革：人月商売の終わり



従来の「人月商売」モデルの限界

深刻なIT人材不足により、日本の労働集約型システム開発は限界に進んでいる。

全工程AI自動化 「AIネイティブ開発」



価値創出型ビジネスへの転換

開発工数ではなく「コスト削減率」などの成果に基づいた報酬体系へ移行する。

2. 成功への鍵：潜む3つの重大リスク



ブラックボックス化のリスク

AI生成システムの内部を人間が理解できず、保守不能な「技術的負債」となる恐れ。



品質と脆弱性のリスク

AIが生成したコードに潜むバグやセキュリティ脆弱性を見逃す危険性。



責任所在の曖昧化

システム障害発生時、AIが関与することで誰が責任を負うかが不明確になる懸念。